

【新規格付け】 首都高速道路公団

第11回首都高速道路債券（一般担保付）： A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

首都高速道路を建設・管理する特殊法人。国が50%、東京都、神奈川県など6自治体が残りを出資する。事業を支える制度は強固で政策的重要性も極めて高い。大規模なインフラ整備であるため建設に多大な資金と時間がかかり、投下資本の回収は長期に渡る。ただ首都圏への人口、企業などの集中が続いており、資本回収が計画を大きく下回るリスクは小さいだろう。2005年度に首都高速道路公団を含む道路関係4公団の資産・負債を統合し、新たに設立する独立行政法人が引き継ぐ。このため道路建設に関わる4公団の債務の信用力は同水準に収斂していくとみられる。道路の公共性の高さ、政治力の強さを考えれば、4公団の国との一体性はとても高い。

【格付け対象】

発行者：首都高速道路公団

名称	第11回首都高速道路債券
発行額	150億円
発行日	2005年2月24日
償還日	2014年12月19日
表面利率	1.49%
格付け	A A（新規）
受託会社	東京三菱銀行
担保	一般担保
備考	商法の規定に基づく社債管理会社でなく、 首都高速道路公団法に基づく受託会社を置く。

長期優先債務格付け： A A

長期優先債務格付けとは、発行体の負うすべての金融債務について回収の程度を考慮する前の、総合的な履行能力についてのR&Iの評価である。

この格付けは、原則として全ての発行体に付与される。個々の債券の格付けは、契約の内容等を反映し、長期優先債務格付けを下回る、または上回ることがある。